

<認知症対応型共同生活介護用>  
<小規模多機能型居宅介護用>

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	10
1. 理念の共有	1
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	4
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	1
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	5
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	7
1. その人らしい暮らしの支援	5
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	23

事業所番号	1473400487
法人名	医療法人桜城会
事業所名	グループホーム友愛
訪問調査日	令和8年1月10日
評価確定日	令和8年3月24日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

### ○項目番号について

外部評価は23項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

### ○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[次ステップに向けて期待したい内容]

次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

### ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

令和7年度

## 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1473400487	事業の開始年月日	平成16年8月1日
		指定年月日	平成16年8月1日
法人名	医療法人桜城会		
事業所名	グループホーム友愛		
所在地	(246-0037) 横浜市瀬谷区橋戸3-26-6		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	9名
		ユニット数	1ユニット
自己評価作成日	令和8年1月1日	評価結果 市町村受理日	令和8年3月25日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

家族的な雰囲気のもとで個人の人格を尊重し、自立のお手伝いをします。利用者に楽しく日々を過ごして頂くことを常に考慮したケアに努めています。昨年(令和6年)末、楽しんで頂けるようリース契約で有線のカラオケセットを導入しました。有線なので最新の曲が取り込めるので、利用者は楽しく、日中からカラオケを楽しんで頂いています。

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒231-0023 横浜市中区山下町74-1大和地所ビル9F		
訪問調査日	令和8年1月10日	評価機関 評価決定日	令和8年3月24日

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

●この事業所は医療法人桜城会の経営です。同法人は大和市で歯科医院、横浜市でグループホームを経営しています。グループホーム友愛は介護保険制度が運用を開始した2年後の2004年に開設した事業所で、今年で22年目を迎えた歴史と実績のあるグループホームです。立地は相鉄線「瀬谷駅」から徒歩15分程の、厚木街道から1本路地に入った住宅地の中にあります。

●事業所では、開設時に作成した理念「家庭的な雰囲気の下で個人の人格を尊重し、自立のお手伝いをします」を現在も継続し、同一の理念を掲げています。また、開設時から管理者の交代は一度もなく、職員の入れ替わりも少ないことから、理念も浸透しており、安定したケアが提供されています。

●定員9名のグループホームだからこそ家庭的な雰囲気を大切にしつつ、職員は「みんなの家」という認識で節度を持ちながら、主役は利用者であることを念頭に置き、利用者の自己選択を尊重した支援を心がけています。ある程度の生活スケジュールは決まっていますが、食事をする場所や時間、レクなどの余暇活動は必ずしも一斉にはなく、本人の生活サイクルを尊重し、好きな場所、時間、過ごし方で生活を送ってもらうようにしています。また、1人の利用者に特化した支援にならないよう、2ヶ月に1回ケア目標を立ててケアに臨んでおり、現在は「個々に出来る運動を探す」をケア目標に掲げて取り組んでいます。このケア目標は、2ヶ月ごとに振り返りと評価を行っており、運営推進会議でも報告を行うなど、高い意識をもってケアに臨んでいます。

## 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 10
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	11
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	12 ~ 16
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	17 ~ 23
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム友愛
ユニット名	

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	○ 2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

1. 47E+09

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ毎日のように
	○ 2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○ 1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を理解し実践している。	開設時に作成した理念「家庭的な雰囲気の下で個人の人格を尊重し、自立のお手伝いをします」を現在も継続し、同一の理念を掲げています。また、職員の入れ替わりも少ないことから、職員間で理念の共有が図られ、理念を意識したケアが実践されています。また、2ヶ月に1回ケア目標を立てながらケアに臨んでいます。	今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	祭りや運営推進会議をとうし交流をひろめている。	南橋戸自治会に加入し、回覧板や近隣に住んでいる職員から地域の情報を入手しています。すぐ目の前にある南橋戸公園でお祭りが開催される時には、利用者の体調などを考慮しながらお連れし、地域との交流を図っています。民生委員の方が毎年カレンダーを持ってきて下さるなど、運営推進会議を通して良好な関係が構築できています。	今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	其の方向ですすんでいる。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	良いと思われる情報は進んで取り入れている。	民生委員、他事業所の管理者(職員)、地域包括支援センター職員、介護支援専門員、職員をメンバーとして2ヶ月に1回事業所内で開催しています。事業所の現状や活動状況報告を中心に、地域の情報などもいただいています。その際に2ヶ月に1回立てているケア目標の振り返りも併せて行うようにしています。議事録は区役所に提出し、事業所内でも閲覧できるようにしています。	今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村とは、常に困ったことや対処に迷った時は指導課に相談している。	年1回の集団指導者講習会は動画配信形式で開催されており、管理者が動画を視聴して、介護事業従事者として必要な情報を把握しています。瀬谷区主催の研修には内容に応じて委員会の職員が参加するようにしています。また、生活保護受給者の受入れを行っている関係で、必要に応じて連絡を取り合いながら対応しています。瀬谷区生活支援課職員の面会も年1回は来訪があります。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束の無いホームとうたっており、現在その様なことは無く、社内会議で話す程度である。	身体拘束等の適正化のための指針は、いつでも閲覧できるように事務所に置かれ、職員の入職時にも事業所では身体拘束を行わないことを伝えています。身体拘束適正化委員会には2名の職員が選出されており、運営推進会議の中で現状報告を行っています。事業所内研修は、委員会の職員が主となって資料の作成や研修を行っています。3ヶ月に1回、事例検討や利用者の対応について話し合い、共通認識を持って身体拘束をしないケアに努めています。	今後の継続
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	拘束の無いホームとうたっており、現在その様なことは社内会議で話す程度である	高齢者虐待防止のための指針は、いつでも閲覧できるように事務所に置かれ、職員の入職時にも事業所では虐待を行わないことを伝えています。高齢者虐待防止委員会には2名の職員が選出されており、3ヶ月に1回開催している身体拘束委員会と併せて、虐待防止委員会を開催しています。不適切ケアや虐待が起こりやすい場面を検証しながら共通認識を図り、虐待をしないケアに努めています。毎年、自己点検シートを用いて全職員を対象に自己点検を行っています。	今後の継続
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在対象者がいないがそうしたい		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	そうしている。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	そうしている。	入居契約時に重要事項説明書に明記している苦情相談窓口や連絡先について説明し、周知を図っています。事業所内に意見箱を設置し、意見や要望を表出できるようにしていますが、電話や来訪時、LINEなどでも状況報告と併せて、その都度何うようにしています。生活保護の方で身寄りが無い人は直接本人から話を聴いています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	そうしている。	職員からの意見や提案は管理者もしくはリーダーがその都度話を聴きながら、内容に応じてその場で取り入れたり、月1回の会議の議題に上げて話し合ったうえで反映させています。決定事項は業務日誌への転記や会議録にて全職員に周知しています。管理者、職員間は常にコミュニケーションを取り合うようにして、気兼ねなく意見や提案を表出できる関係が醸成されています。	今後の継続
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	そうしている。	在籍年数の長い職員も多く働いていおり、管理者は職員と常にコミュニケーションを取るようにして、風通しの良い職場環境づくりを心がけています。定期的な面談機会は設けていませんが、都度職員との面談機会を持つようにしながら悩みや相談を聴いています。また、グループLINEを活用してシフト作成や共有事項をアナウンスしています。	今後の継続
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	そうしている。	入職時には、事業所の理念やケア方針などを管理者もしくはリーダーから伝えていきます。OJTの期間は入職者の介護経験有無によって異なりますが、最低でも2,3回は職員が付きながら指導を行っています。その後は、年間研修計画に基づいた毎月の研修、外部研修受講を促しながら、職員の資質向上に努めています。	今後の継続
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域のホームと連絡し相談したり入居者応募の情報を交換している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	最初の不安をとくよう慣れやすいよう心を開けるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	最初の不安をとくよう慣れやすいよう心を開けるよう勤めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	最初の不安をとくよう慣れやすいよう心を開けるよう勤めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	信頼されるような関係を築くよう心掛けている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	信頼されるような関係を築くよう心掛けている。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	そうするよう勤めている。	入居に伴う事前面談で本人の生い立ちや馴染みの人、場所などに関する情報を聴き取り、入居後も馴染みの人や場所との関係を継続できるようにしています。お正月に年賀状を出したいと要望があり、事業所で年賀状を用意して本人に書いていただき、一緒に投函に行くなどの支援も行っています。家族のみならず、友人が来られる方もおり、面会に来られた際には居室で面会していただいています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	そうするよう勤めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	そうするよう勤めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	そのように勤めている	入居時に本人、家族、介護支援専門員、病院関係者から、過去の生活歴、既往歴、趣味嗜好品、ADL、暮らし方の希望などを聴き取りながら基本情報シートを作成し、職員間で共有しています。日々の関わりの中で本人が発した言葉や気づいたことがあれば個人記録に転記し、ケアに反映させています。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人一人の生活をホームに入っても変わらぬようしている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の残存能力を把握している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	そのように勤めている	初回の介護計画は基本情報シートの情報を基に作成し、3ヶ月後のケアカンファレンスでモニタリングとアセスメントを行い、必要があれば内容を変更していますが、明らかに事前の情報と齟齬がある場合や、状態の変化があれば3ヶ月以内に変更しています。事業所では毎日ミニカンファレンスを行っていますが、介護計画の見直しは、短期3ヶ月、長期6ヶ月とし、計画作成者を中心にモニタリングとアセスメントを行い、課題やケア方針を定め、現状に即した介護計画の作成につなげています。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	そのように勤めている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	そのように勤めている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	そのように勤めている		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医者はなるべく変えないで本人の状況を長い目で見ていただいている。	入居時に事業所の協力医療機関「ふれあいの丘クリニック」へ切り替えていただき、月2回の訪問診療を受診しています。訪問看護師による健康管理も週1回あり、爪切りなどの対応もお願いしています。歯科は同法人の運営している「友愛歯科クリニック」から口腔ケアや必要な処置を希望者のみ受けています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	そのように勤めている			
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	そのように勤めている			
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	そのように勤めているし重度化がすすむ時こそ話し合いの場を多くしている	入居時に重度化や終末期の指針について説明し、延命治療の希望と併せて確認し、同意書を交わしています。事業所では、重度化や終末期の意向確認を毎年確認していますが、重篤化した際には、その都度意向確認書を取り交わしています。看取りを希望された場合には、医療機関、家族とも連携を取りながら、穏やかな終末期が迎えられるようチームで支援しています。		今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	そのように勤めている			
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災訓練や火災訓練で対処している	年2回昼夜を想定して、通報、消火、避難動線の確認、消火設備の操作方法などを確認しながら避難訓練を行っています。瀬谷区には独自の「seya防災ネットワーク」があり、事業所も参加しています。事業所がハザードマップのエリア対象(水害)地域になっていることから、水害を想定した訓練や直ぐ裏にある有料老人ホームとは受入れをお願いしています。消防署からのアドバイスを受け、事業所では災害図上訓練も取り入れています。		今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その様な対処を心がけている	ハラスメント委員会による、接遇、人権研修をはじめ、日々のケアで気になる場面が見受けられた際には、その都度職員間で話し合い、日々の対応を再確認する機会を設けています。利用者の呼称については、名字にさん付けを基本とし、フロアで行う申し送りはイニシャルで行うようにしています。	今後の継続
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	その様な対処を心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	そのように心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	そのように心がけている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	そのように心がけている。	調理済みの食材を購入して、湯煎もしくは自然解凍したおかずを提供し、ご飯や汁物は職員が準備しています。できる方には片付けを手伝っていただき、残存能力の維持につなげています。時には出前でピザを注文したり、利用者からの希望で即席めんとおにぎりを提供することもあります。瀬谷区にあるバリアフリーレストラン「風の音」では刻み食などの対応もしてくれることから、外食にお連れすることもあります。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	そのように対処している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	そのように対処している		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	各自パターンを把握しトイレ時間を見て事前に声がけをしている	利用者全員の排泄状況を記録し、一人ひとりの排泄パターンを把握しています。自立している方はご自身のタイミングでトイレに行っていただき、パッド交換時に記録をつけています。職員の介入が必要な方は定時や様子を見ながら声かけてトイレにお連れしています。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	そのように対処している		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	そのように対処している	週2回を基本とし、午前中に入浴支援を行っています。入浴前にはバイタルチェックと本人の希望を確認し、無理強いすることなくご自身の意向で入浴していただくようにしています。衣服の着脱時には身体チェックを行い、痣や皮膚疾患などの早期発見に努めています。入浴後には保湿クリームの塗布や水分を摂取していただくようにして、肌乾燥と脱水症状予防に努めています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	そのように対処している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	そのように対処している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	そのように対処している		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	そのように対処している	天気や気候の良い日には、すぐ目の前にある橋戸南公園、ADLに応じた散歩コースに出かけています。あまり外出を希望されない方でも、会話の中から外に出るきっかけを作るようにしています。個別対応で月1回「お楽しみデー」と称して、近くのコンビニまでお連れし、弁当やデザートのお買い物を楽しんでいただくようにしています。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	そのように対処しているが金銭感覚がない方にはその様な対処をしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	そのように対処している		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	そのように対処している。	廊下には行事の写真や季節にちなんだ装飾が施されています。リビングの食卓は利用者同士の相性を考慮し、複数箇所に分けて配置されています。車椅子で過ごされている方もいるため、十分な動線を確保しています。リビングからは目の前の公園が望め、子どもたちの遊ぶ姿や声が日常生活の一部として心地よさにつながっています。	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	そのように対処している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	そのように対処している。	エアコン、照明、クローゼットは完備されていますが、それ以外に必要な物や馴染みの調度品を持ち込んでいただくように伝えています。ベッドや家具等の配置については、動線を考慮しながら配置され、生活しやすい居室作りがされています。	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	そのように対処している。		

# 目標達成計画

事業所

グループホーム友愛

作成日

令和7年1月13日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	18	外出支援	天気や気候の良い日には積極的に声をかけて外出を促す。	時間を設けて、個別対応にて外へお連れする。	1年

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。